

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。  
さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与すべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の受託を開始することになりました。  
取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

- 抗IA-2抗体 :項目コード 5945

### 受託開始日

平成30年12月1日(土)受託分より新規受託開始

※ 詳細につきましては、裏面の内容をご参照願います。

▼今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目を中止させていただきます。

項目コード	検査項目	受託中止日
5944	抗IA-2抗体	平成 30 年 12 月 5 日(水)最終受託をもって中止



保健科学研究所	〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106	TEL.045-333-1661
保健科学東日本	〒365-8585 埼玉県鴻巣市天神3-673	TEL.048-543-4000
保健科学西日本	〒612-8486 京都府京都市伏見区羽束師古川町328	TEL.075-933-6060
保健科学東京	〒160-0001 東京都新宿区片町3-3	TEL.03-3357-3611
保健科学新潟	〒950-0054 新潟県新潟市東区秋葉1-6-31	TEL.025-275-0161

## 新規受託項目

項目コード	検査項目 JLAC10	検体 必要量	容器 保存方法	検査方法	基準値	所要 日数	実施料 判断料	備考
5945	抗IA-2抗体 5G342-0000-023-023-01	血清 0.6 mL	A ↓ G 冷蔵	ELISA法	0.6 未満 U/mL	5~9 日	213 生化(Ⅱ)	*4

検査場所: エスアールエル(略号: \*4)

### ▼ 臨床的意義

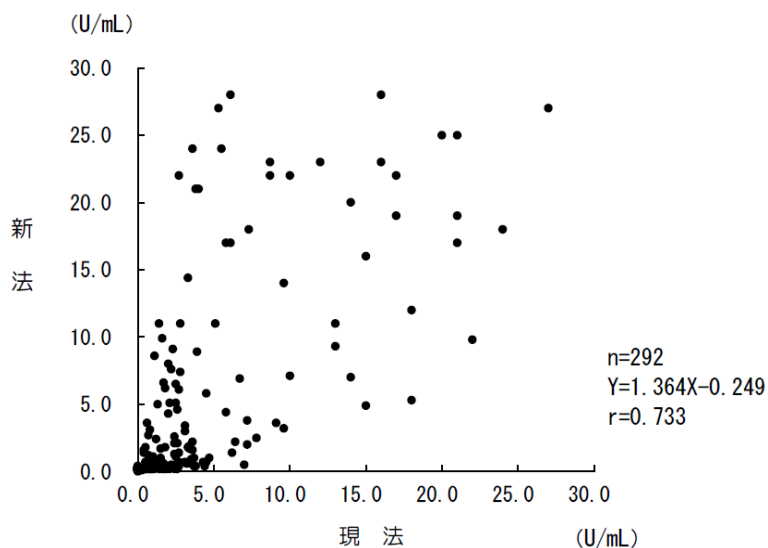
糖尿病は1型糖尿病と2型糖尿病に大別され、このうち、1型糖尿病は発症形式により急性発症1型糖尿病、劇症1型糖尿病、緩徐進行1型糖尿病(SPIDDM)の3種に分類されます。

急性発症1型糖尿病と劇症1型糖尿病では、発症時に著明な高血糖、糖尿病ケトosisや糖尿病ケトアシドーシスがみられるため、2型糖尿病との鑑別は比較的容易ですが、緩徐進行1型糖尿病(SPIDDM)は2型糖尿病と類似した臨床像を呈します。SPIDDM患者に対して、SU薬を使用すると、インスリン治療と比べてインスリン依存状態への進行リスクが高まる事が知られており、適切な治療のためには病型の判別が重要となります。

糖尿病の診断には膵島関連自己抗体の測定が必要ですが、陽性率の高い抗GAD抗体の陰性例において、抗IA-2抗体が陽性の場合に、緩徐進行1型糖尿病(SPIDDM)の可能性が考えられます。

抗IA-2抗体は、2018年4月診療報酬改訂により年齢制限が撤廃され、30歳以上も、抗GAD抗体が陰性であることが確認された患者に対し、1型糖尿病の診断に用いることが可能となりました。

### ▼ 現法と新法の比較



### ▼ 検査方法参考文献

川崎 英二, 他: 医学と薬学 66(2):345~352, 2011. (検査方法参考文献)